

平成 20 年度低コスト森林作業システム研修会開催

去る7月22日から26日までの5日間、昨年度に引き続き、低コスト森林作業システム研修会を開催しました。

低コスト森林作業システムとは、丈夫で壊れにくい作業路網と高性能林業機械を組み合わせた、低コスト・高効率な森林整備システムです。

昨年度は、システムの基盤となる作業路の構造や開設方法、路網配置について学びましたが、今回は、技術者の養成を目的として、実際に研修生がバックホウを操作し、四万十式作業路の開設を行いました。

今後は、高性能林業機械による集運材研修や山形版低コスト作業路開設の手引きの制作などに取り組んでいきます。土質や従来の作業方法との違いなど、課題が少なくありませんが、関係機関と連携し、山形に適した低コスト森林作業システムの普及・促進に努めていきます。



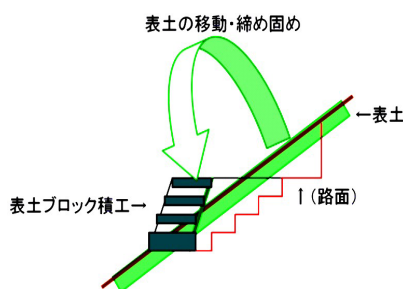
中岡氏からシステムの考え方を学ぶ



5日間で120名を超える参加者



田邊氏による熱心な指導



表土を丁寧に積上げていく



根株の扱いに苦戦する研修生



根株を盛土補強材として配置

研修会の詳細は以下のとおりです。

- 場 所：寒河江市大字田代 地内（林道岩木田代線沿線・林業公社造林地）
主 催：山形県・東北森林管理局山形森林管理署・山形県林業労働力確保支援センター
講 師：高知県四万十町林業政策監 田邊由喜男 氏
オペレーター講師 渡部 隆志 氏
林野庁関東森林管理局群馬森林管理署署長 中岡 茂 氏
内 容：（22日）講義「低コスト作業路とルート選定の考え方」
（23日）実技 ルート選定の講義及び実技
（24・25・26日）実技 作業路開設及び経営者向け実演
参集範囲：森林組合・素材生産業者・建設業者・市町村・県・国関係者ほか